

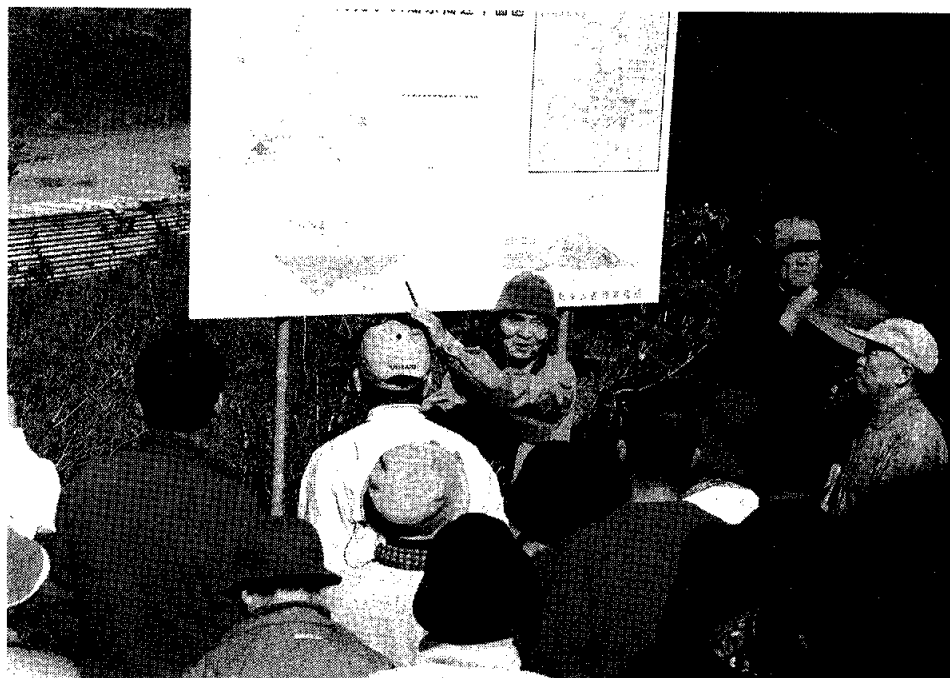
NCS HOKKAIDO

Nature Conservation
Society of Hokkaido

2002年7月 NO.116

..... CONTENTS

チヨットひとこと.....佐藤 光子.....2	JCBカード終了のお知らせ.....9
重大な局面を迎えた 日高横断道路.....俵 浩三.....3	あ・ら・か・る・と.....10
署名にご協力を.....5	活動日誌、要望書、寄付金.....11
2002年通常総会の概要.....6	お知らせコーナー.....12
	・夏休み自然観察コンクール作品募集

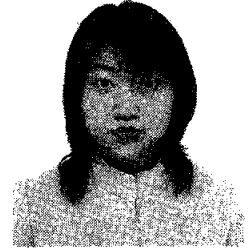


日高横断道路問題を現地で解説する俵会長

動物保護へ法規制急げ

私は札幌で弁護士をしておりますが、弁護士になる前から動物保護団体に所属しております。

その団体を知るきっかけとなったパネル展は、私には非常に衝撃的でした。体を固定されたウサギがずらりと並び、シャンプー液のテストのため、目にその液体が入れられているのです。ウサギは声をあげないため痛くても何もいえません。そのまま、目は腐ってしまうのです。ストレス実験のため、ハンマーで足をなぐられ続け、恐怖で顔が引きつった小犬や、何のための実験かわかりませんが「絶食」という札が掛けられた小さな檻の中に入れられ骨が見えるビーグル犬、頭に電極を差し込まれたサル……。これらはほんの一部です。



先進国ではみな動物実験の規制や、外部機関による実験施設への立ち入り調査など何らかの法規制がなされていますが、日本は何ら法規制がなされていないのが現状です。密室下で、科学や医学の名の下にどのような実験が行われているのか、単なる研究者の知的好奇心を満たすだけに生命がもてあそばれることになっても、何の規制もないのです。731部隊の人体実験を見てもわかるとおり、人の痛みを忘れた知的好奇心というのは恐ろしいものです。

一方で、動物実験をどんなにやったところで薬害はなくなり、スモン、サリドマイド、薬害エイズ、私が弁護団員としてかかわった薬害ヤコブ病などの薬害訴訟で、国や企業が一貫して被告席に座り続けていることからわかるように、薬害は人為的な原因でおこっています。

実験動物は最も過酷な状況に置かれていると思いますが、野生動物、ペットも含め、動物保護に関しては法的な面では日本は後進国といえましょう。

地球上で生活しているのは人間だけではなく、痛みを感じるのも人間だけでは無いことに一人でも多くの人に気付いて欲しいというのが私の願いであります。

(札幌市在住)

佐藤光子

重大な局面を迎えた日高横断道路 会員が力を合わせ中止の方向を加速させよう

会長 俵 浩 三

日高横断道路問題が重大な局面を迎えました。6月13日の北海道新聞が1面のトップ記事で「日高横断道／知事、建設中止も視野／推進姿勢を転換」と報じたのにつづき、6月27日の北海道議会で知事が日高横断道路について、「建設の意義は現在も変わっていないが、今後、完成までに多額な事業費と長い時間がかかるので、今後の工事の進め方について、国や地元自治体と相談していきたい」と答弁し（6月28日各新聞報道、一部は27日夕刊）、「見直し」を正式に表明したのです。

またこれに関連し、北海道新聞は6月16日「日高横断道／遅すぎたが中止は当然」という社説を掲げ、6月25日には国土交通省の佐藤静雄副大臣がヘリコプターで緊急の現地視察を行いました。

日高横断道路の抜本的な見直しを行うことは、北海道自然保護協会が最重点課題としてとりくみ、知事や国土交通省に再三再四にわたって要望し、また志を同じくする自然保護団体と「日高山脈シンポジウム」を開催したり、「止めよう日高横断道路全国連絡会」を組織して運動してきたところですから、知事の慎重姿勢への転換は歓迎すべきことです。

会員の皆さまは、こうした動きを見て「日高横断道路は中止される」と期待し、安心した方もおられると思います。しかし楽観は禁物です。知事の慎重姿勢への転換に対し、政治家、地元町村や北海道開発局、さらに北海道建設部の内部からさえ、「巻返し」作戦が強化されつつあることが、さまざまな情報として伝わってきます。長野県ではダムの建設中止を表明した知事が、県議会で不信任決議をされるという事態も発生しました。いわゆる抵抗勢力の力は、自然保護の勢力よりもはるかに強いのです。まして現在継続中の日高横断道路を、未完成のまま中止させようとするのですから、その「逆風」は、着工前の公共事業の是非の場合よりもはるかに強いのです。

そうした中で会員の皆さまにできることは何でしょうか。せつかく知事が慎重姿勢に転換し「見直し」を表明したのですから、抵抗勢力の逆風に負けないよう、中止の方向を加速し、知事が決断し易くする状況をつくることです。そのためには当面、①「日高横断道路反対署名」を増やすこと、②その活動費を支えるため「止めよう日高横断道路全国連絡会」に一口千円（一回だけで年会費は不要）で加入すること、という二つの協力が求められます。

なお日高横断道路について行政側と論議し、その問題点を鮮明にすることは、理事会が中心となっていままで以上に強力に押し進めたいと考えています。

日高横断道路の建設中止の方向を加速するため、会員の皆さまのいっそうのご協力をお願いいたします。

日高横断道路は見直し自然遺産に 整備の意義は失われた

俵 浩 三

日高山脈の心臓部で工事が進められている日高横断道路（道道静内中札内線）について、堀達也知事が「一度立ち止まって考え直す」として推進姿勢を転換し、6月の道議会で計画の見直しを正式に表明した。ただし知事は日高横断道路の「整備の意義は変わっていない」と述べているが、客観的に見れば明らかに「整備の意義は失われた」のである。

この問題の発端は、事業再評価で開発局と道が日高横断道路の「事業継続」を決めたため、疑問を抱いた北海道自然保護協会が知事と7回の質疑応答を重ね、問題点を鮮明にしたことにある。

最大の問題点は、事業の根拠となる「開発道路」の公式な指定理由が、道民に隠されてきたことである。行政はいままで20年以上も、日高横断道路は道央と道東を結ぶ「広域幹線」道路だと一貫して説明してきた。これに対し、資源開発を必須要件とする開発道路の制度に適合しないと指摘すると、苦しい立場に立たされた知事は一転して、「広域幹線」ではなく「沿線の農林業の資源開発」が公式な開発道路指定理由だったことを、初めて明らかにしたのである。

ところが、日高横断道路沿線の大部分は住民のいない国有林で農業開発ができないうえ、国有林の経営も木材生産を主目的としておらず、資源開発効果がない。

しかも、開発道路は戦後日本の経済復興のため設けられた「用済み」の制度で、もはや時代の変化により継続する意義を失っている。

食品に例えれば、「広域幹線」というラベルをはがしたら、その下にとっくに賞味期限が切れた「資源開発」というラベルを張ってあることが、消費者の指摘で露呈したようなもので、そんな商品は売らねはいかない。

日高山脈を横断する道路はすでに4本あり（狩勝峠、日勝峠、天馬街道、黄金道路）、5本目の日高横断道路を建設しても「費用対効果」は低い。

日高山脈の自然環境は、日本に残された最大の原始境といわれ、世界遺産に匹敵する価値がある。その心臓部を道路建設で傷つけることなく後世に引き継ぐことこそ、21世紀の北海道民の責務といえる。

地元町村が日高横断道路の実現を望む気持ちは理解できるが、このような実態からすれば、知事が「立ち止まって考え直す」というのは当然である。

緊急特集

「考え直す」に当たっては、行政だけが独走することなく、推進、反対両派も含む道民参加、情報公開、説明責任を保障し、第三者の目を忘れず、客観的でオープンな論議がなされなければならぬ。

北海道誕生の秘密を刻む 日高山脈
日高山脈は東海から西海にかけての多岐な自然環境を築き上げた重要な自然遺産となりました。その自然環境は、道民の生活に深く関係しています。

日本最大 最後の秘境

自然保護世論を無視して 着工したが完成のめどが立たない日高横断道路
日高横断道路（仮称）は、日高山脈の自然環境を破壊し、地域の自然環境に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。また、道路の建設による環境破壊や、自然環境の破壊による自然環境の悪化など、多くの問題が生じています。

21世紀の日高山脈は 横断道路より 自然遺産
日高山脈は、自然環境の豊かな地域であり、自然環境の保護が求められています。また、自然環境の保護は、地域の発展にもつながります。

「止めよう日高横断道路」署名にご協力を

5月11日に発足した全国連絡会は、“日本一の原始境日高山脈の心臓部を貫く横断道路はいらない”パンフレットと署名簿を各団体に発送し、会員（会費1,000円）募集と署名活動を開始しました。会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

全国連絡会では北海道知事の見直し発言を受けて「立ち止まって検討する」ならば、まず建設予算を止める必要があると主張して、財務省・国土交通省・北海道に申し入れられました。

日高横断道路が本当に止まるかどうかは、市民の声を大勢集められるかどうかにかかっています。ご近所や職場の皆さんに署名を勧めてください。パンフレットや署名用紙が必要な方は事務局にご連絡ください。すぐに送ります。

2002年度通常総会の概要

日時 2002年5月18日(土)

午後1時30分～3時20分

場所 道民活動センター(かでの2・7)

(札幌市中央区北2西7)

会員総数1,048人(過半数525人)のうち出席56人、委任状535人の合計591人となり、定款の定足数を満たし成立。

俵会長挨拶

北海道の自然保護問題はバブルの頃はリゾート・ゴルフ場問題が盛んでしたが、今は公共事業が大きく浮上しています。新聞によると、千歳川の治水対策について放水路やミニ放水路でなく、堤防強化を中心とする総合的治水対策を行うよう、知事が国土交通相に意見書を提出したとのこと。これは私たちの主張が入れられた望ましい方向です。また士幌高原道路は建設が中止され、地元対策が進められていますが、十勝自然保護協会が運動の取り組みを「然別湖の自然よ永遠に」という記録集にまとめました。

当面する最大の課題は日高横断道路です。「士幌」の成果を引き継ぎ「日高山脈の自然よ永遠に」という気概で重点的に取り組みたい。一方で身近な自然をめぐる問題も次々出てくるので、目配りしていかなばなりません。21世紀を名実ともに「環境の世紀」にするように、一緒に頑張っていきたいと思います。

第1号議案 2001年度事業報告および収支決算報告・監査報告

事業報告、収支決算報告について俵会長、畠山副会長からそれぞれ議案書に基づき説明、監査報告については大西監事から「会計処理、事業などが適正に行われている」旨報告された。

質疑 質問、意見なし。

◆ 第1号議案承認

第2号議案 2002年度事業計画および収支予算

事業計画説明(俵会長) 会員数が漸減傾向にあるのは努力不足と反省している。会員拡大にこれまで以上に努めるのでご協力をお願いします。日高横断道路は問題点が一層明らかになったが、新たな連絡組織をてこに、全国に運動を広げ、世論の力でぜひ建設をストップさせたい。

収支予算説明(畠山副会長) 前期繰越収支差額を合わせ約931万円の収入に対し、支出はほぼ前年並みの事業規模とした。ただ事務局体制の簡素化により退職金約125万円分がなくなるので、旅費交通費、通信運搬費を少し増額した。

質疑

<八木名誉会員> 日高横断道路について運動の具体的な方法を聞きたい。

<俵会長> 今月11日発足した連絡組織「止(や)めよう日高横断道路」全国連絡会の名称は、公共事業の主権は国民にあることを明確にするため「止(と)めよう」でなく「止(や)めよう」にした。パンフ配布と署名運動を全国的規模で展開したい。当協会から知事に対するこれまで7回の質問状で開発道路建設は「予算の目的外使用」であるという矛盾点をはっきりしてきた。来年は知事選もあり、国の開発事業の5年ごとの見直し時期に当たる。必然的にやめざるを得ない方向に追い込んでいきたい。

<高畑常務理事> 協会では他の団体と協力してこれまで2回、日高山脈シンポを開いてきた。全国連絡会では、事業中止による建設業者などへの対応も含め従来の協会活動の枠を破る運動を目指したい。

<吉崎会員> 横断道路は現実にはかなり奥まで建設が進んでいる。中止された場合、別な目的での有効利用は考えられないか。たとえば日高の自然を楽しむためのアプローチに活用できないか。

< 俵会長 > やめさせるのが先決で、そうした検討はしていないが、既にできた部分もあるのは事実だ。ペテガリ岳に登るアプローチに活用することなどは考えられる。私たちも、できている部分まで壊せとは言っていない。自然を破壊する無駄な金が毎年30億円も使われるることに反対しているのだ。

< 八木名誉会員 > 昨年、あらためて現地に行き、無駄もさることながら、地質的に無理な所に道路を作っていると痛感した。

◆ 第2号議案承認

第3号議案 理事選任の件

< 根岸徹選挙管理委員長 >

3月7日に選挙管理委員会を発足させ、立候補を募ったところ、公示期間中に21人の立候補があり、定数20を上回ったため、久しぶりに無記名投票で選挙を行った。5月16日に開票した。

有効投票は434票（うち白票2）、投票率は41.4%だった。

当選者20人は次の通り（届け出順、かつこ内は居住市町、○印は新しい人）。

大館和広（紋別）、○後藤言行（小樽）、畠山武道（小樽）、森田正治（中標津）、俵浩三（札幌）、佐藤謙（同）、福地郁子（同）、○佐藤光子（同）、○小島望（同）、高畑滋（同）、稗田一俊（八雲）、伊達佐重（栗山）、佐藤正秀（苫小牧）、宗像和彦（函館）、嶋田久夫（札幌）、江部靖雄（同）、沢部勝（北広島）、○竹中万紀子（札幌）、大久保フヨ（北広島）、奥谷浩一（江別）

◆ 承認

総会を一時休憩し、別室で理事会を開き、次の通り正副会長、常務理事を互選した。

2001年度収支決算

決算報告（2001年4月1日から2002年3月31日まで）

一般会計

(円)

収入の部		支出の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
(基本財産運用収入)	(300)	(管理費)	(4,961,167)
基本財産利息	300	賃金	1,235,000
(引当預金運用収入)	(77)	諸謝金	70,000
引当預金利息	77	退職金	1,254,000
(会費収入)	(6,511,430)	福利厚生費	3,255
個人会費	3,931,430	会議費	23,810
団体会費	2,580,000	旅費交通費	533,760
(一般事業収入)	(89,020)	通信運搬費	401,375
一般事業	89,020	消耗品	188,049
(補助金収入)	(0)	印刷製本費	34,492
地方公共団体補助金	0	燃料費	36,257
(助成金収入)	(0)	光熱水料費	90,405
民間助成金	0	貸借料	875,328
(寄付金収入)	(344,000)	諸会費	83,000
寄付金	344,000	図書資料費	0
(雑収入)	(491,911)	支払手数料	5,265
受取利息	455	租税公課	119,782
雑収入	491,456	雑費	7,389
(繰入金収入)	(0)	(一般事業費)	(1,848,797)
繰入金	0	広報事業費	1,657,160
(引当預金取崩収入)	(1,170,000)	普及事業費	191,637
退職給与引当預金取崩	1,170,000	(調査研究等事業費)	(152,220)
(前期繰越収支差額)	(766,295)	(引当預金支払)	(0)
		退職給与引当預金支払	0
		(繰入金支出)	(0)
		繰入金支出	0
		(予備費)	(0)
収入合計 (A)	9,373,033	支出合計 (B)	6,962,184
		次期繰越収支差額(A)-(B)	2,410,849

会長 俵浩三

副会長 畠山武道、佐藤謙

常務理事 福地郁子、江部靖雄、高畑滋、

伊達佐重、沢部勝

第4号議案 監事選任の件

< 俵会長 > 大西勲、山本行雄の両氏に引き続き監事をお願いしたいと推薦します。

◆ 承認

第5号議案 その他

< 札幌 中村会員 > 士幌高原道路建設反対運動について十勝自然保護協会が「然別湖の自然よ永遠に」という記録集を作った。いろいろな運動に共通する教訓もあるので、ぜひ参考にしてほしい。

2002年度収支予算

予算計画 (2002年4月1日から2003年3月31日まで)

一般会計

(円)

収入の部		支出の部	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
(基本財産運用収入)	(0)	(管理費)	(3,911,000)
基本財産利息	0	賃金	1,300,000
(引当預金運用収入)	(0)	諸謝金	50,000
引当預金利息	0	退職金	0
(会費収入)	(6,200,000)	福利厚生費	50,000
個人会費	3,800,000	会議費	50,000
団体会費	2,400,000	旅費交通費	500,000
(一般事業収入)	(200,000)	通信運搬費	400,000
一般事業	200,000	消耗品	200,000
(補助金収入)	(0)	印刷製本費	50,000
地方公共団体補助金	0	燃料費	40,000
(助成金収入)	(0)	光熱水料費	100,000
民間助成金	0	賃借料	900,000
(寄付金収入)	(100,000)	諸会費	86,000
寄付金	100,000	図書資料費	50,000
(雑収入)	(400,000)	支払手数料	10,000
受取利息	3,500	租税公課	100,000
雑収入	396,500	雑費	25,000
(繰入金収入)	(0)	(一般事業費)	(2,150,000)
繰入金	0	広報事業費	1,750,000
(引当預金取崩収入)	(0)	普及事業費	400,000
退職給与引当預金取崩	0	(調査研究等事業費)	(400,000)
		(引当預金支出)	(0)
		退職給与引当預金支払	0
		(繰入金支出)	(0)
		繰入金支出	0
		(予備費)	(2,849,849)
当期収入合計	6,900,000		
前期繰越収支差額	2,410,849	当期支出合計	9,310,849
収入合計	9,310,849		

間不足からこのような形になったことを反省し今後改善に努めたい。次に理事の人数は定款で「20人以内」と決まっている。これまでは自発的な立候補はほとんどなく、お願いして人数をそろえてきた。今回もいろいろな人をお願いした結果、たまたま21人になったので選挙になった。これは偶発的な結果であり、理事になれなかった人にも協力を求めている。

<室蘭 沖田会員> 昨年入会したが、「定款」があるのを知らなかった。入会時にそうした規約を配布するようにしてほしい。

<俵会長> その点は手抜かりだったと反省している。定款などは今後、協会のホームページに載せ、希望者にはコピーを配布したい。

◆ 以上で総会は終了

<恵庭 池田会員> 会費納入に口座振り込みを取り入れられないか。事務局の手間も削減される。
 <俵会長> 検討してきたが、会員の絶対数が少ない現状では、口座引き落としは難しいようだ。
 <中野会員> 90年度まで常務理事を務めていた経験から言って、第1に、議案書の事業計画は項目名の羅列で終わっているのは納得できない。どういう情勢認識の下でどう運動に取り組んでいるのか、総会に出席できない会員にも分かるような表現にしてほしい。第2に、理事は久しぶりに選挙になったが、今のやり方では理事の活動実績が会員には分からず、かなり偶然に左右される。もっとしこりを残さないような方法はないのか。
 <俵会長> 議案書の書き方が不親切だという指摘は重く受け止める。ボランティア活動の中で時

専門委員に熊木氏

6月22日開かれた2002年度第1回理事会で前常務理事の熊木大仁氏(札幌市)を主に河川問題を担当する専門委員として承認、俵会長から委嘱しました。

専門委員は「専門の事項について会長の諮問に応じて調査研究を行う」もので、これまで小野有五、鮫島博一郎、林吉彦の三氏が委嘱されています。

北海道自然保護協会 JCBカードの終了のお知らせ

2000年12月に会員募集を開始した「北海道自然保護協会 JCBカード」の契約を、本年7月31日に終了する事になりました。

なお、お手許のカードは、有効期限まで「JCBカード」として利用できます。終了に当たっての事務処理や問い合わせには「JCB北海道」が対応します。詳しくは「終了のご案内」が「JCB北海道」から会員の皆様に郵送されますので、それをご覧ください。

☆ ☆ ☆ ☆

「JCB北海道」では、本年10月よりIC仕様を施した新カードを発行する予定になっており、ICカードや入会申込書を新たに作成するための経費負担が必要になります。こうした事情もあって「経済環境が厳しいので提携カード契約を終了したい」との打診がありました。

協会としても、導入以来「会報・会誌」でのPR、入会申込書の送付、各種集会での配布、協力店へ置いてもらう、といった宣伝に努めてきましたが、入会会員が少なく最近では頭打ちの状況になっていることなどから、相手方の事情にも配慮し、契約終了を受け入れることにしました。

いままでご協力いただいた皆様方には深く感謝申し上げますとともに、不本意ながらも契約終了に至ったことを深くおわび申し上げます。

自然公園法一部改正(2002年2月)

自然公園の目的に景観保護と利用以外に生態系および生物の多様性保全が以下の条文で加えられた。

第3条2 国及び地方公共団体は、自然公園に生息し、又は生育する動植物の保護が自然公園の風景の保護に需要であることにかんがみ、自然公園における生態系の多様性の確保その他の生物の多様性の確保を旨として、自然公園の風景の保護に関する施策を講ずるものとする。

自然公園が生物多様性保全の場であり、多様性確保が国民共通の責務であることが明記されたので、自然公園における自然保護に強力な根拠ができたといえる。

道央市民生協から牛乳パック回収益金の寄付を頂きました

6月10日ウトナイ湖ネイチャーセンターで贈呈式がありました。

道央市民生協では組合員に環境保全・資源リサイクルを訴えて、牛乳パックやアルミ缶の回収を行っています。この一年で牛乳パック67万枚の回収をしました。牛乳パック1,500枚でパルプ原木一本分に当たるそうで、一年で446本の立木を救ったこととなります。

回収した牛乳パックから再生した紙は、トイレットペーパーになり、集めた組合員にエコ商品として買われていきます。さらに益金を自然保護に役立たせるために自然保護協会に寄付していただいたので、二重の環境保護活動していることとなります。

協会もこのような活動から資金を寄せられ、期待されていることに身の引き締まる思いで受け取りました。有り難うございました。

本の紹介

「高尾山にトンネルは似合わない—千年の森と高速道路」

岩波ブックレット No558 辰濃和男 著 定価(本体 480円+税)

1967年に東京外環道の外側に大きな圏央道計画がたてられ、高尾山をトンネルで貫通し、中央道と八王子ジャンクションと結び、国道20号(甲州街道)と八王子南インターで結ぶという計画。「日高横断道路」とは対照的に過剰交通による公害が問題になっている。高尾山は年間2百数十万人が訪れ、風土生命体といわれ、1,060人が原告となって工事差止め訴訟を起こした。本書は63ページながら大きな問題提起をしている。

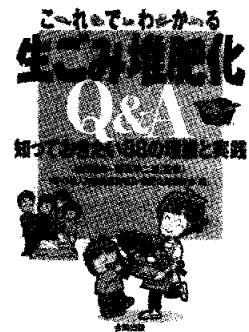


「これでわかる 生ごみ堆肥化

—知っておきたい88の理論と実践—

岩田進午・綱島不二雄[監修] 合同出版 定価(本体 1,600円+税)

身近な問題から環境問題ととりくむのに好適な実践書。問答形式で生ごみ堆肥化を解説している。ごみ問題と、有機農業とを考える住民運動を支える好著。



研究紹介

「中川研究林における自然環境調査

—道路建設予定地における環境モニタリング—

金子 潔他(北方林業 vol 54, No.7)

国道40号の音威子府村と中川町の間にバイパスが計画されている。北大中川地方演習林の研究者を中心に、自動車道路建設の自然への影響調査が行われている。オジロワシ・クマタカ・コウモリ類・ヒグマ・ネズミ・昆虫類・魚類などの動物相の生態調査や森林植物の風衝・分断化、道路散布化学物質の影響などの調査が行われている。研究は長期固定プロットや、GIS(地理情報システム)を使った広域同時評価などが試験されている。

この研究は計画時から始まり、建設中、建設後、運用時まで継続して行われる予定だが、随時、実験的手法で短期的影響についても公表されるという。排気ガス、振動、騒音などについても検討されることを期待したい。

新会員紹介

2002・3から2002・7まで

【A会員】

GRASING 藤山 原島 和子 中川 匡史
半田 孝俊 中川 将人 鈴木 敏人 戸津 高保

大井 博一 北村 昭裕 内藤 吉徳 井上 大介
伊藤 真人 岩崎 孝博 山本 倫子 鈴木加奈子
川合 晴代 谷井 利明 奈良岡幸子

【学生会員】

土榮 拓真

活動日誌

2002年3月

- 2日：第2回「日高山脈シンポジウム」
“日高横断道路を問う”（北大クラーク会館）
- 9日：自然保護講演会「ヒグマ・トラジローの corridor 保全」 青井俊樹氏
（かでの2・7）
- 13日：臨時常務理事会 日高パンフレットの件
- 15日：会誌No40、会報NC115号発送
- 16日：高山植物盗掘防止ネット全体会議。
佐藤謙副会長講演
- 22日：自然公園研究会。俵会長講演
- 23日：第4回理事会
- 29日：平取ダム問題で熊本常務理事ら室蘭開建と話し合い

2002年4月

- 11日：沙流川流域検討委員会。熊本・稗田理事出席
- 17日：拡大常務理事会
- 20日：自然観察協議会総会「千島列島の植物」高橋英樹氏講演
- 23日：自然公園研究会
- 24日：環境道民会議

2002年5月

- 11日：「止めよう日高横断道路」全国連絡会が発会総会
- 18日：年次総会、第6回理事会
- 20日：北海道環境審議会。畠山副会長出席

2002年6月

- 7日：日高横断道路パンフレット、署名簿発送
- 10日：ウトナイ湖ネイチャーセンターで道央市民生協から寄付金
- 13日：南幌中学生5名協会来訪
- 22日：第1回理事会
- 26日：夏休み自然観察記録コンクール案内教育委へ発送

2002年7月

- 3日：「日高横断道路」知事宛要望書
- 11日：札幌市羊ヶ丘小学校総合学習に講師派遣
- 17日：第1回常務理事会

要望書など

■2002年2月26日

国土交通大臣、北海道知事宛
日高横断道路（道道静内中札内線）事業の抜本的な再評価を求める追加要望
北海道自然保護協会・十勝自然保護協会・北海道勤労者山岳連盟・北海道自然保護連合の共同提出

■2002年2月26日

北海道知事宛
日高横断道路（道道静内中札内線）事業の執行にかかわる道政の進め方に関する追加質問書

■2002年6月5日

北海道知事宛
日高横断道路（道道静内中札内線）事業の執行にかかわる道政の進め方に関する質問書（再質問）

寄 付 金

1月	北海道花の名店会	50,000円
3月	松川 信子	6,000円
	上田 文雄	6,000円
	岡部美恵子	10,000円
4月	匿名	2,000円
	鉄道林を守る会	31,412円
	吉崎 秀夫	16,000円
	佐々木榮松	6,000円
5月	近藤 芳二	1,340円
	小林 栄二	3,000円
	匿名	2,000円
6月	山本 信	1,000円
	道央市民生協	50,000円

事務局から……………

無記名振込票がありました。

4月5日に厚別原始林通郵便局から振り込まれた会費4,000円の振込用紙に名前がありませんでした。お心当たりの方は事務局までご連絡ください。

* お知らせコーナー *

**第9回夏休み自然観察記録
コンクールのご案内**

応募テーマ 身の回りの自然をよく見て、作文や絵に詳しくかいてみよう。
応募資格 道内在住の小学生
応募規定 作文用紙は自由な規格。低学年は絵日記ふうなまとめ方でも良い。絵は画材、用紙、大きさ自由
 応募票(題、住所、氏名、学校名、学年、電話番号)を付ける。
応募先 ☎060-0003
 札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル
 (社)北海道自然保護協会
 ☎011-251-5465
応募期間 2002年8月上旬から9月中旬
主催 (社)北海道自然保護協会、北海道新聞社、(財)北海道新聞野生生物基金
 詳しくは7月23日北海道新聞朝刊に掲載

講演会

**札幌学院大学社会連携センター
コミュニティ・カレッジ
「環境保護の現在と未来」**

自然生態系の破壊は「宇宙船地球号」に住むすべての生命の存続を脅かし、われわれは大量生産・大量消費の社会システムから脱却して、循環型・資源節約型の社会システムへと移行を迫られています。自然生態系の保護、そのための法整備、リサイクルなどの運動と思想にも新しい積極的な動きが出始めています。環境保護運動の現状と到達点をふまえ、未来への足がかりを考えます。

期間 10月11日(金)から11月15日まで
 毎金曜日 PM6:30~8:30 (全6回)
場所 札幌学院大学社会連携センター
 札幌市中央区大通西6丁目
 地下鉄大通駅 出口1 徒歩1分
定員 50人
受講料 3,600円(全6回)
申し込みは同センター ☎011-280-1581
講師の先生(各回順)
 依 浩三氏、佐藤光子氏、畠山武道氏、
 鮫島和子氏、林 善之氏、奥谷浩一氏

**第13回滝野の自然に親しむ集い
親子で楽しい自然観察**

期 日 2002年8月3日(土)~4日(日)
場 所 滝野自然学校(札幌市南区滝野106)
対 象 小中学生とその保護者 定員100名
参加者 1人2,900円(大人・子供同額)
申し込み 住所・電話番号参加者全員の氏名、年齢をFAXまたは電話で下記へ
 ☎060-0807
 札幌市北区北7条西5丁目
 ストークスマンション704
 自然ウォッチングセンター
 TEL/FAX: 011-736-3165
主催 北海道自然観察協議会
後援 (社)北海道自然保護協会・札幌市教育委員会

協会のホームページ

<http://www.jade.dti.ne.jp/~nchokkai/kansatu.html>

協会では、会誌やNC(会報)の他に、ホームページでの活動報告・意見募集も行っておりますので、ぜひご覧になってください。会員の皆さんには、協会宛に直接の手紙であっても、ホームページ上の意見欄であっても、常に活発に、ご意見を寄せていただくこと願っております。

会費納入のお願い

協会の活動は、会員の皆さんによる総意と会費に基づいております。まだ会費未納の方がおられましたら、下記に納入くださいますよう、宜しく願いいたします。

個人A会員	4,000円
個人B会員	2,000円
(A会員と同一世帯の会員)	
学生会員	2,000円
団体会員 1口	15,000円

〔会費納入方法〕

郵便振替口座 02710-7-4055
 北洋銀行大通支店(普通) 0017259
 北海道銀行本店(普通) 0101444
 札幌銀行本店(普通) 418891

※ この紙は再生紙を使用しています。

